

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独】・ 連携事業

市町名	那須塩原市
-----	-------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	恋するなすしおばらマルシェ	総事業費	1,178,483	1,194,866	400,000	400,000	400,000	3,573,349
		うち市町支出額	792,000	756,000	172,800	0	0	1,720,800
		うち県交付金	396,000	378,000	86,400	0	0	860,400
2	身近な生き物の野外観察	総事業費		235,358	145,000	145,000	100,000	625,358
		うち市町支出額		172,272	70,000	50,000	0	292,272
		うち県交付金		86,136	35,000	25,000	0	146,136
3	「地域力の向上」をめざして-安全・防災で安心して暮らせる「絆」づくり-	総事業費		936,584	330,000	300,000	300,000	1,866,584
		うち市町支出額		842,925	230,000	150,000	0	1,222,925
		うち県交付金		421,462	115,000	75,000	0	611,462
4	～姉妹都市リンツ市との和文化交流をめざして～那須塩原市の文化とリンツ市の文化の初めての出会い	総事業費		1,571,572	792,000	700,000	700,000	3,763,572
		うち市町支出額		900,000	554,400	350,000	0	1,804,400
		うち県交付金		450,000	277,200	175,000	0	902,200
5	家庭訪問型子育て支援ホームスタート・ホームビジター養成事業	総事業費			414,800	400,000	400,000	1,214,800
		うち市町支出額			275,400	210,000	150,000	635,400
		うち県交付金			137,700	105,000	75,000	317,700
6	地域による子育て交流事業	総事業費			530,000	500,000	500,000	1,530,000
		うち市町支出額			477,000	350,000	250,000	1,077,000
		うち県交付金			238,500	125,000	125,000	488,500
7	子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業	総事業費			50,000	50,000	50,000	150,000
		うち市町支出額			45,000	35,000	25,000	105,000
		うち県交付金			22,500	15,000	12,500	50,000
8	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学	総事業費			1,038,328	1,000,000	800,000	2,838,328
		うち市町支出額			826,495	616,000	340,000	1,782,495
		うち県交付金			413,247	308,000	170,000	891,247
9	なしお博「みんなの学校」上映特別講演 木村泰子先生講演会	総事業費			190,000	50,000	50,000	290,000
		うち市町支出額			171,000	35,000	25,000	231,000
		うち県交付金			85,500	17,500	12,500	115,500
10	三島コミュニティ「防災研修会」	総事業費	121,492	91,856	-	-	-	213,348
		うち市町支出額	96,000	63,000	-	-	-	159,000
		うち県交付金	48,000	31,500	-	-	-	79,500
11	那須チーズフェスタ	総事業費	376,815	382,401	-	-	-	759,216
		うち市町支出額	132,489	99,100	-	-	-	231,589
		うち県交付金	66,244	49,550	-	-	-	115,794
12	田んぼアート制作事業	総事業費	593,104	667,190	-	-	-	1,260,294
		うち市町支出額	154,548	166,000	-	-	-	320,548
		うち県交付金	77,274	83,000	-	-	-	160,274
13	家族で農業・食育体験事業	総事業費	1,135,534	1,008,450	-	-	-	2,143,984
		うち市町支出額	698,827	570,325	-	-	-	1,269,152
		うち県交付金	349,413	285,162	-	-	-	634,575
14	南地区の防犯・防災・安全環境を子どもたちと考える事業「南地区マップづくり」	総事業費		331,966	-	-	-	331,966
		うち市町支出額		283,658	-	-	-	283,658
		うち県交付金		141,829	-	-	-	141,829
15	子育て世帯が親子で楽しめる吹奏楽コンサート	総事業費		508,755	-	-	-	508,755
		うち市町支出額		225,356	-	-	-	225,356
		うち県交付金		112,678	-	-	-	112,678
16	南地区の環境を子どもたちと考える事業「ゴーヤ緑のカーテン&遊べ!の森づくり・クワガタ教	総事業費	137,411	-	-	-	-	137,411
		うち市町支出額	60,379	-	-	-	-	60,379
		うち県交付金	30,189	-	-	-	-	30,189
17	まだまだ元気「60歳からのともだちづくり」の集い	総事業費	95,556	-	-	-	-	95,556
		うち市町支出額	70,083	-	-	-	-	70,083
		うち県交付金	35,041	-	-	-	-	35,041
市町計	総事業費	3,638,395	6,928,998	3,890,128	3,545,000	3,300,000	21,302,521	
	うち市町支出額	2,004,326	4,078,636	2,822,095	1,796,000	790,000	11,491,057	
	うち県交付金	1,002,161	2,039,317	1,411,047	845,500	395,000	5,693,025	

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	恋するなすしおばらマルシェ
事業主体の名称	まちづくり委員会
代表者の名称	室越 礼一
事業主体の所在	〒329-3146 那須塩原市中下野913
事業主体の概要	<p>・団体の目的:「まちづくりは人づくり」の指針のもと、地域活性化のイベントや各種勉強会を通して人材育成を図り、地域に貢献する。</p> <p>・設立年月日:平成16年10月1日</p> <p>・設立経緯:平成17年1月1日の3市町合併に当たり、那須塩原駅周辺(東那須野地区)の活性化を目指して設立された。</p> <p>・構成員等:市内東那須野地区 商工業関係者、地域住民 20人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>今までは、地域内の農観商工に関わる方がそれぞれ独自に勉強会や単発イベントを実施してきたが、効果が限定的であった。そのため、農観商工それぞれの分野における人材を育成することを目的に、「なすしおばらフェスタ」を開催して、地域産業活性化を図ってきた。しかし、新たな地域産業や、就業者の増加につながっていないため、いかにして分野を超えた異業種交流・連携を進めていくかが課題である。</p>
事業目的	<p>多くの観光客等が行き交う那須塩原駅前前でマルシェを開催し、農観商工が同時に交流する場、市民、観光客等とも直接つながる場を創出することにより、相互のネットワークを構築するとともに、新しい発想を生み出し、産業の活性化を図ることを目的とする。さらに、新たな発想から生み出された事業(仕事)により、就業の場を創出することを目指す。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■恋するなすしおばらマルシェの開催</p> <p><内容></p> <p>那須塩原駅西口広場にてマルシェを開催する。那須塩原産の野菜やお米の販売、塩原温泉、板室温泉のPR、地元野菜を使用した飲食店の出店、那須塩原市のPRを行う。農観商工の出店者が連携できるようにするため、開催前の出店者会議を実施する他、SNSを利用しグループを構築する。また、マルシェを開催することにより出店者どうしの繋がりをづくり、週末起業家やこれから起業する人を応援する。</p> <p><開催時期></p> <p>平成30年6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日、</p> <p>《観光誘客のための情報発信》</p> <p>・ポスター、チラシを作成し、公共施設や案内所等に設置・配布。また、広告費削減のため、SNSを活用した情報発信に重点を置く。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>補助金を受けず、自立した運営をしたいと考えており、そのためにもSNS等を活用して認知度を向上させて実施したい。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】・未来を創る地域産業の活性化のために ・未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「Koyou(雇用)」新規就農者、創業者への支援、「Kouryu(交流)」市全体で魅力ある観光地づくりに寄与する。</p> <p>【目標指標】就業者数 59,140人(平成22年度)⇒60,000人(平成31年度)【H27実績 59,869人(国勢調査)】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	なすしおばらマルシェの開催	恋するなすしおばらマルシェの開催	恋するなすしおばらマルシェの開催		恋するなすしおばらマルシェの開催
事業費	1,178,483	1,194,866	400,000	2,773,349	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	792,000	756,000	172,800	1,720,800	0
うち県交付金	396,000	378,000	86,400	860,400	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	386,483	438,866	227,200	1,052,549	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	身近な生き物の野外観察
事業主体の名称	ジュニア生き物クラブ
代表者の名称	松村 雄
事業主体の所在	〒325-2745 那須塩原市三区町658-72
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 自然に接する機会が乏しく、生き物を肌で感じる事が少なくなった子供たちに、身近な生き物に触れ親しみ、観察したり調べたりする機会を与える。子供たちが、実体験を通して多様な生き物がすむ自然のすばらしさに触れ、感じ取ることにより、自然の大切さや生命の尊さを学ぶことを目指す。</p> <p>・設立年月日: 平成25年6月23日</p> <p>・構成員等: 14人(指導員)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>現在の子供たちは、テレビ・ビデオの映像や読書で豊富な知識を得ることはできるが、直接自然に接する機会は乏しい。子供たちが地域の身近な生き物に親しみ、実体験を通して感覚的に自然を知り、科学的な視点から自然のシステムを理解することが必要である。</p>
事業目的	<p>那須塩原市の豊かな山野で、地域の子どもたちに直接自然と接してもらい、体験をとおりて自然を学んでもらう。また、多様な生き物を観察し、親しむことで那須塩原市の自然環境の素晴らしさを知り、魅力的な地域資源として再認識するとともに郷土愛の醸成につなげることを目的とする。さらに、活動内容について情報発信することにより、市内外の子育て世代が、豊かな自然環境の中で、体験を通して成長することができる子育て環境の良さを認識してもらおう。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■身近な生き物の野外観察</p> <p><対象>市内の小学生15名程度</p> <p><内容>5月 身近な自然探検(烏ヶ森公園)、6月 水辺の生き物調べ(西公民館池)、7月 山の動植物の観察(塩原地区) 8月 セミのぬけがらしらべ(烏ヶ森公園)、9月 赤とんぼを探そう(那須野営場)、10月 秋の植物調べ(那須野野営場) 11月 土の中の動物しらべ(那須野野営場、外部講師)、12月 野鳥の観察(鳥野目河畔公園)、1月 冬の森探検(大沼園地)、2月 閉校式、親子ビザ作り体験</p> <p>《情報発信》</p> <p>・事業の実施にあたり、HPや広報、市内各所でのチラシの配布により参加を呼びかける。また、活動の様子を、HP等に掲載し、那須塩原市の自然と、体験教育の機会充実についてPRする。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>■身近な生き物の野外観察</p> <p>検証・分析を踏まえ、より多くの子供たちに実際に自然に触れ合う体験の機会を作る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)体験教育の充実」に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	身近な生き物の野外観察	身近な生き物の野外観察	身近な生き物の野外観察		身近な生き物の野外観察
事業費	235,358	145,000	145,000	525,358	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	172,272	70,000	50,000	292,272	0
うち県交付金	86,136	35,000	25,000	146,136	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	63,086	75,000	95,000	233,086	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	「地域力の向上」をめざして-安全・防災で安心して暮らせる「絆」づくり-
事業主体の名称	大山コミュニティ運営委員会
代表者の名称	田口 常信
事業主体の所在	〒329-2712 那須塩原市下永田8-7-86 (大山公民館内)
事業主体の概要	・団体の目的: 地区内組織・機関・団体との連携を密にし、コミュニティづくりの計画及び運営について、住民の意思反映と住民の自主参加を促進して、住民相互の連帯感と生活文化の向上を図り、明るい地域づくりに資することを目的とする。 ・設立年月日: 平成2年8月5日 ・構成員等: 地区住民等 10,165人
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、都市化が進み、様々な生活上の問題が浮上してきた。特に地域住民の連帯意識が薄れ、地域の「絆」が弱体化してきており、災害や高齢者の見守りに対応しにくい状況にある。また、地域の伝統行事や地域にある様々な団体の組織編成や運営に支障が出てきている。そのため、住民相互の連帯意識を高め、地域力を向上させることが必要である。
事業目的	地域の連帯意識を高めるために、住民の意識啓発を図り、地域住民が安心して暮らすことができる「絆」づくりの実現から「地域力の向上」に寄与することを目的とする。
事業概要	【平成30年度】 ①地域住民の意識啓発 ポスター・チラシの配布(通年)②「あいさつ運動」「声かけ運動」(通年)③電柱巻き看板の追加設置 ④ボランティア「きずなづくり隊」の追加募集、活動(通年)⑤ボランティア活動「いつもと違う家」「交通危険個所」等⑥ヒヤリハット研修(警察の協力を得て、PTAと合同実施)⑦HUGゲーム(PTAと合同実施)、各自治会との一斉合同避難訓練(消防署の協力あり)・消火訓練、心肺蘇生講習、AEDの使い方などブースごとのワークショップ 《情報発信》 ・事業の実施にあたり、チラシやコミュニティだよりにて周知する。 ・実施結果についても、コミュニティだより、事例、発表により周知し、浸透させる。 【平成31年度以降】 事業を継続し、本コミュニティの「地域安全部会」が主体的に企画・実施をする。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】①未来を守る災害対応力の強化のために ②未来に集う人々の活発な交流のために 【重点施策】Kurashi(暮らし)「安心・安全な生活環境の確保、「Kouryu(交流)地域コミュニティの活性化に寄与する。 【目標指標】①災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度 基準値(平成22年度)59点 ⇒ 目標値(平成31年度)65点以上【H27実績 52点】 ②定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること【H28実績 175人転出超過】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③キャッチコピーの募集 ④電柱巻き看板の設置 ⑤きずなづくり隊の活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③電柱巻き看板の設置 ④きずなづくり隊の活動 ⑤ボランティア活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム、各自治会との一斉避難訓練、ワークショップ	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③電柱巻き看板の設置 ④きずなづくり隊の活動 ⑤ボランティア活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム、各自治会との一斉避難訓練、ワークショップ		①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③電柱巻き看板の設置 ④きずなづくり隊の活動 ⑤ボランティア活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム、各自治会との一斉避難訓練、ワークショップ
事業費	936,584	330,000	300,000	1,566,584	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	842,925	230,000	150,000	1,222,925	0
うち県交付金	421,462	115,000	75,000	611,462	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	93,659	100,000	150,000	343,659	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	～姉妹都市リンツ市との和文化交流をめざして～ 那須塩原市の文化とリンツ市の文化の初めての出会い
事業主体の名称	グローバルカルチャー那須
代表者の名称	和田 準夫
事業主体の所在	〒325-0103 那須塩原市青木25-1540
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 那須地域を発信地として、文化、芸術の振興を図ると共に、その基盤である環境の保全と観光の健全なる共生発展のため、これらの活動に関する調査、研究、宣伝および情報提供、その他関係諸機関と連携を図り、文化の伝承と向上に努め、会員相互の親睦と融和を図り、もって地域の活性化と人材育成に寄与することを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 平成16年2月18日</p> <p>・構成員等: 会の目的に賛同する個人(27人)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	那須塩原市とオーストリアのリンツ市は、姉妹都市提携を結び、1年を経過した。国際交流の観点から、行政、市民による様々な分野での交流が期待されているが、身近に交流機会が少ないことも事実である。相互の地域の活性化及び人材育成を促進するためにも、相互理解と友好を深める効果的な交流を行うことが課題である。また、オリンピックのキャンプ地にもなったが、市民にとって情報が少なく、関心がない。
事業目的	姉妹都市であるリンツ市との市民レベルでの文化交流の活性化を図ることにより、本市の国際交流の一助になることを目的とする。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■市民レベルの文化交流「公開報告会」</p> <p>＜開催日＞平成30年9月9日 ＜場所＞那須塩原市三島ホール</p> <p>＜内容＞市民レベルの国際交流の活発化や気運を高めるため、リンツとの交流、リンツの文化を取材したものをコンテンツ化し、市民に公開報告会として情報提供を行い、市民が姉妹都市リンツを知るきっかけを作り、国際交流の啓蒙を図る。市民レベルでは、まだ姉妹都市に関する情報が乏しく、関心も乏しい状態にある。リンツの文化、リンツの人々の生活(毎週開かれるマルシェや、地元根付いた祭りなど)を取材したコンテンツを作成、また、リンツ市民が初めて触れる日本文化への反応も盛り込んで作成する。作成したコンテンツは、中学生のリンツ市への派遣事業の事前学習用の資料など、各方面で無料で活用できるものとする。</p> <p>《情報発信》</p> <p>・事業の実施にあたり、HPへの掲載、チラシ、ポスターを市内施設に設置する。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>オリンピック等も見据えて、市民が国際交流に関心が持てるよう事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「Kouryu(交流)」国際交流の推進に寄与する。</p> <p>【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回る事。【H28実績 175人転出超過】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	姉妹都市リンツ市との和文化交流を目指し「平家物語 那須の与一の段」の初演	～姉妹都市リンツ市との和文化交流をめざして～ 那須塩原市の文化とリンツ市の文化の初めての出会い	～姉妹都市リンツ市との和文化交流をめざして～		～姉妹都市リンツ市との和文化交流をめざして～
事業費	1,571,572	792,000	700,000	3,063,572	700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	900,000	554,400	350,000	1,804,400	0
うち県交付金	450,000	277,200	175,000	902,200	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	671,572	237,600	350,000	1,259,172	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室	
担当者名	田中 幸子	
連絡先	電話	0287-62-7151
	FAX	0287-62-7220
	E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	家庭訪問型子育て支援ホームスタート・ホームビジター養成事業
事業主体の名称	特定非営利活動法人子育てほっとねっと
代表者の名称	西田 由記子
事業主体の所在	〒329-2754 那須塩原市西大和6-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:子育ての支援を必要としている家庭に対し、地域において地域の人の手による子育て支援と子育てのネットワークづくりに関する事業を行い、世代をこえた交流と通し、家族が安心して生活できる地域づくりを行うことを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成24年2月16日</p> <p>・構成員等:正会員30名、ささえあい会員2名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、子育て支援のメニューは充実してきており、当法人も市からの委託事業ファミリーサポートセンターを実施してきた。その中で浮かび上がってきた課題として、そのような支援の場に出てこられる家庭は良いが、出てこれない家庭がたくさんあり、こちらから出向いていくアウトリーチ型の子育て支援の方法が必要である。
事業目的	家庭訪問型子育て支援ホームスタートの担い手であるホームビジターの養成を行い、孤立している乳幼児を持つ家庭の子育てを支援していくことを目的とする。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」事業実施のため、子育て家庭を支えるホームビジターの養成講座を行う。また、「ホームスタート」について広く周知を行うための説明会を行う。</p> <p>＜内容＞</p> <p>6月上旬:ホームスタートについての勉強会 7月:ホームスタート説明会 8月下旬～10月下旬:ホームビジター養成講座(8回)実施</p> <p>＜対象者＞</p> <p>ホームビジター養成講座については、20歳以上の市民でホームビジターになることを希望する方などでも。</p> <p>《情報発信》</p> <p>・チラシを作成し、公共施設や案内所等に設置・配布。また、法人ホームページに掲載し、情報発信を行う。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>ビジター養成が済み次第、乳幼児をもつ子育て家庭に向けてホームスタートの広報を行い、ホームスタートの事業を開始する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kosodate(子育て)」子育て支援体制の整備に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	平成32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業		家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業
事業費	414,800	400,000	400,000	1,214,800	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	275,400	210,000	150,000	635,400	0
うち県交付金	137,700	105,000	75,000	317,700	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	139,400	190,000	250,000	579,400	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	地域による子育て交流事業
事業主体の名称	特定非営利活動法人ゆめがくどう
代表者の名称	後藤 政人
事業主体の所在	〒325-0033 那須塩原市埼玉8-120
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:那須塩原市民及び周辺住民に対して、放課後児童クラブの事業を行い、子どもたちが健全に育っていく環境をつくり、豊かな人間性を育てることを目的とする。 ・設立年月日:平成28年9月30日 ・構成員等:正会員60名、賛助会員104名
当該事業に係る地域の現状と課題	世代間交流の場がなくなり、子育てが孤育てになり、地域で子どもを育てる機会が少なくなっている。子供は決められたルールの中で生活し、自分で考え行動する機会が減っている。また、共働きの家庭が増え、放課後児童クラブの重要性が高まっているが、社会的理解が進んでいない。
事業目的	共に生きる仲間づくりという観点から、子供、保護者だけでなく、今を生きる私たちが「子どもをまんなか」に仲間づくりをしながら、スクラムの組める社会づくりの構築を目指す。地域に見守られた中で、子どもが昔の遊びや集団遊びを通して、自ら考え行動できる力をつけることを目的とする。また、子供にとっての遊びは、成長する過程で必要不可欠な社会教育であることを広めることを目的とする。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■子どものフェスティバルの開催 <内容>地域ぐるみでの子育ての必要性から、地域住民、保護者、子どもが一体となって、「昔の遊び」や「集団での遊び」など遊びの楽しさを体験してもらう。泥団子づくり、スポーツチャンバラ、レクリエーションなどを企画する。また、放課後児童クラブが子どもにとってどうい場所かを紹介し、子育てをする親同士が交流できる場づくりをする。 <開催日>平成30年10月 <対象者> 市内在住者ならどなたでも</p> <p>■講演会の開催 <内容>地域で子育てができる社会とするための講演会を行う。仮題「子ども理解を深め、みんなで子育てできる社会とするためには」 <開催時期>2月予定 <対象者>市内在住の方どなたでも</p> <p>《情報発信》 ・チラシを作成し、公共施設や各学校等に設置・配布を依頼する。また、法人ホームページに掲載し、情報発信を行う。</p> <p>【平成31年度以降】 引き続き、事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)体験教育の充実、「Kosodate(子育て)」子育て支援体制の整備に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 → 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	平成32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	地域による子育て交流事業	地域による子育て交流事業	地域による子育て交流事業		地域による子育て交流事業
事業費	530,000	500,000	500,000	1,530,000	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	477,000	350,000	250,000	1,077,000	0
うち県交付金	238,500	125,000	125,000	488,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	53,000	150,000	250,000	453,000	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	子ども達の自治会参加を促す地域通貨発行事業
事業主体の名称	黒磯七区自治会
代表者の名称	小泉 信三
事業主体の所在	〒325-0013 那須塩原市鍋掛1087-1131
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:会員相互の理解を深め、効力して明るく住みよい地域社会を創ることを目的として設立 ・設立年月日:昭和62年3月1日 ・構成員等:黒磯七区自治会422戸
当該事業に係る地域の現状と課題	当自治会には70名の小学生がいるが、育成会長が毎年交代し、継続的な活動が難しいという状況がある。子どもたちが、自分の住む、所属する自治会を意識する機会がほとんどないと言っても過言ではない。自治会離れが心配される現代において、未来を担う子どもたちに自分の住む地域に対する愛着を持たせる必要がある。
事業目的	子どもたちが、自治会の清掃活動や、敬老会の協力など、自治会行事に参加すると自治会通貨「クローナ」がもらえるという事業を実施し、自治会活動への参加を促す。ひいては、自治会の一員としての自覚を形成させる一助とする。また、自治会事業の運営にも参加する機会を与えることにより、主催者意識を形成する。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>自治会の下記事業に参加した子どもたちに地域通貨「クローナ」を渡す。地域通貨は、地域のとよら夏まつりや、とよら公民館まつりの黒磯七区自治会で企画する「射的」「輪投げ」などの遊びに使用することができる。クローナは、クローナ手帳を作り、たまったクローナを「黒七フリマ会場」で交換するものとし、交換会場では、昔の遊び広場を開催し、子どもたちが参加しやすいよう、ワクワクするように仕掛ける。</p> <p>■クローナ交換会場、昔の遊び広場</p> <p>5月から10月:黒七フリマ開催時に実施 (クローナ対象事業)</p> <p>通年:各班での道路清掃活動(1クローナ)、通年:黒七こどもだより協力(協力ないようによるクローナ)</p> <p>5月から10月:黒七フリマ時アルミ缶回収(個数により変動)、7、8月:ラジオ体操参加(1クローナ)</p> <p>9月:敬老会・三世代交流事業協力(1クローナ) 10月:とよらコミュニティ主催スポレク参加く祭参加(1クローナ)</p> <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「黒七だより」(大人向け)、「黒七こどもだより」(子供向け)の発行によりPRしていく。自治会のホームページもあり。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>効果測定は、参加人数と、自治会☆いくつアンケートにより確認し、認知度を図りながら事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「Kouryu(交流)」地域コミュニティの活性化に寄与する</p> <p>【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること。【H28実績 175人転出超過】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	平成32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業	子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業	子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業		子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業
事業費	50,000	50,000	50,000	150,000	30,000
市町支出金 (ソフト事業分)	45,000	35,000	25,000	105,000	0
うち県交付金	22,500	15,000	12,500	50,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	5,000	15,000	25,000	45,000	30,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学
事業主体の名称	そすい通り商店会
代表者の名称	山本 博一
事業主体の所在	〒 329-2754 那須塩原市西大和5-10
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地域活性化・地域の向上・地域コミュニケーションの場作り等を目的とし、加入事業者がその目的のために一つになって課題に取り組むことを目的とする。</p> <p>・設立年月日:昭和58年1月1日</p> <p>・構成員等:29人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	西那須野地区は中心市街地が空洞化し、交流人口が減少している。商店街では、昔から地元で活躍している「匠の技」をもつ事業者が高齢化し、「匠の技」が途絶の危機にある。また、地域住民も高齢化してきており、空洞化を加速させ、地域の賑わい、交流が薄れてきている。
事業目的	世代を問わず、生活の知恵や匠の技を伝授したり、子どもたちに体験の場を提供する。また子どもたちは、親と一緒に作業することで、家族の触れ合いの機会を作る。また、チャレンジ大学の参加者同士のコミュニケーションが増え、交流の場となり、市民の目で地域を見守っていきけるような社会を目指す。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■チャレンジ大学 <内容>一般市民受けに、世代を問わず地元での「匠の技」を担当の事業所で体験してもらってチャレンジ大学を(月に1回、年合計12回)開催し、体験教育や親子のふれあいに寄与する。(例)「畳作り体験」「工務店による木工教室」「イタリアンレストランによる手作りピザ体験」など <対象者>市内在住者を中心に、1回20人程度</p> <p>■防災セミナー <内容>市内の事業所と連携し、防災士を招いての防災セミナーを開催する。市民、事業者等、地域ぐるみで安全安心について考える機会を設ける。</p> <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、ポスターを作成し配布する。新聞折り込みも使ってPRに努める。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>引き続き、事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために②未来を創る地域産業の活性化のために ③未来に集う人々の活発な交流のために④未来を守る災害対応力強化のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)体験教育の充実」、「Koyou(雇用)新規創業者への支援」、「kouryu(交流)地域の活性化」、「Kurashi(暮らし)安全 安心な生活環境を作ることに寄与する。</p> <p>【目標指標】①児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上 【H27実績 51点】</p> <p>②就業者数 59,140人(平成22年度)⇒60,000人(平成31年度)【H27実績 59,869人】</p> <p>③定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回る【H28実績 175人転出超過】</p> <p>④災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度 基準値(平成22年度)59点 ⇒目標値(平成31年度)65点以上【H27実績 52点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	平成32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学		地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学
事業費	1,038,328	1,000,000	800,000	2,838,328	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	826,495	616,000	340,000	1,782,495	0
うち県交付金	413,247	308,000	170,000	891,247	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	211,833	384,000	460,000	1,055,833	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

